

編者・執筆者紹介

【編者】

かわな しんじ
川名 晋史 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授 第1章, 第2章

1979年生

青山学院大学大学院国際政治経済学研究科博士後期課程修了 博士（国際政治学）

〔主要業績〕

『日本外交の論点』（共編，法律文化社，2018年）

『基地の政治学——戦後米国の海外基地拡大政策の起源』（白桃書房，2012年，第24回国際安全保障学会最優秀出版奨励賞）

『沖縄と海兵隊——駐留の歴史的展開』（共著，旬報社，2016年）

さとう しろう
佐藤 史郎 大阪国際大学国際教養学部准教授 序文，結びに代えて

1975年生

立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程修了 博士（国際関係学）

〔主要業績〕

『日本外交の論点』（共編，法律文化社，2018年）

『はじめての政治学〔第2版〕』（共著，法律文化社，2017年）

「永井陽之助——理解・配慮・反社会工学の政治学」（『国際関係論の生成と展開——日本の先達との対話』所収，ナカニシヤ出版，2017年）

【執筆者】

こが けい
古賀 慶 南洋理工大學社会科学部助教 第3章

1976年生

タフツ大学フレッチャースクール（政治理論・国際安全保障専攻）博士課程修了
博士（国際関係学）

〔主要業績〕

Reinventing Regional Security Institutions in Asia and Africa（Routledge, 2017）

“The Concept of “Hedging” Revisited: The Case of Japan’s Foreign Policy Strategy in East Asia’s Power Shift”（in *International Studies Review*, 2018）

『『安全保障化』のツールとしての地域機構——ASEANとECOWASの比較検証』（『国際政治』189号，2017年，167-176頁）

なかむら なかふみ
中村 長史

東京大学大学院総合教育研究センター特任研究員

第4章

1986年生

東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学 修士（学術）

〔主要業績〕

『資料で読み解く「保護する責任」——関連文書の抄訳と解説』（共編，大阪大学出版会，2017年）

『出口戦略のディレンマ——構築すべき平和の多義性がもたらす難題』（『平和研究』48号，2018年，149-166頁）

『出口戦略の歴史的な分析——武力行使の変貌がもたらす撤退の変容』（『国連研究』19号，2018年，143-163頁）

さとう りょうすけ
佐藤 量介

成城大学法学部専任講師

第5章

1974年生

一橋大学大学院法学研究科博士課程修了 博士（法学）

〔主要業績〕

『国連金融制裁における安保理補助機関の機能——国際組織法の視点から』（『国連の金融制裁——法と実務』所収，東信堂，2018年）

『国連安全保障理事会による『許可』をめぐる理論状況（1）（2・完）——権限委任アプローチと違法性阻却アプローチの批判的検討』（『一橋法学』14巻3号，2015年，217-235頁，15巻1号，2016年，335-373頁）

『国連憲章第7章の措置によるグローバル・ジャスティス実現の道程——いわゆる『許可（authorization）』の実行を中心に』（『世界法年報』34号，2015年，82-110頁）

さいとう こうすけ
齋藤 孝祐

横浜国立大学研究推進機構特任准教授

第6章

1980年生

筑波大学大学院人文社会科学部研究科一貫制博士課程修了 博士（国際政治経済学）

〔主要業績〕

『日本外交の論点』（共編，法律文化社，2018年）

『軍備の政治学——制約のダイナミクスと米国の政策選択』（白桃書房，2017年）

『沖縄と海兵隊——駐留の歴史的展開』（共著，旬報社，2016年）

1975年生

立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程満期退学 博士（国際関係学）

[主要業績]

『はじめての政治学 [第 2 版]』（共著，法律文化社，2017年）

「転換期にある日本の防衛産業」（『科学』86巻10号，2016年，20-26頁）

「人道主義的アプローチに基づく通常兵器の規制——NGOが果たした役割を中心に」（『グローバル社会と人権問題——人権保障と共生社会の構築に向けて』所収，明石書店，2014年）

1985年生

同志社大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学 博士（政治学）

[主要業績]

「総合安全保障の受容——安全保障概念の拡散と『総合安全保障会議』設置構想」（『国際政治』188号，2017年，46-61頁）

「新冷戦初期における紛争周辺国への援助——戦略援助の『発見』と『擬装]」（『国際安全保障』42巻2号，2014年，69-85頁，2015年度国際安全保障学会最優秀新人論文賞）

“The Ministry of Foreign Affairs and the Shift in Japanese Diplomacy at the Beginning of the Second Cold War, 1979: A New Look” (in *The Journal of American-East Asian Relations*, 2012, The Frank Gibney Award)

1975年生

東北大学大学院法学研究科博士課程後期修了 博士（法学）

[主要業績]

『日本外交の論点』（共編，法律文化社，2018年）

『戦争と人道支援——戦争の被災をめぐる人道の政治』（東北大学出版会，2012年）

「自然災害と安全保障」（『シリーズ日本の安全保障 8 グローバル・commons』所収，岩波書店，2015年）